

Ⅲ 未就業看護職員実態調査

1. 調査概要

- 1) 目的：
 - ・未就業看護職の退職理由・離職の原因となりやすいものの傾向を知り、再就職支援のための基礎資料とする
 - ・ナースセンターに希望する内容を把握し、利用しやすい体制構築への基礎資料とする
- 2) 調査期間：令和5年7月24日～令和5年8月31日
- 3) 調査対象：7月1日時点で「就職活動をしている」eナースセンター登録者2,492人
うち有効回答334人（有効回答率13.4%）
- 4) 調査方法：調査対象者にWeb回答によるアンケートを実施

2. 調査結果

1) 回答状況（表1）

有効回答数334人の就業状況は、「就業している」194人（58.1%）、「就業していない」140人（41.9%）であった。

回答者の年代は20代、70代が他の年代に比べて非常に少なかった。

就業状況を年代別で見ると、30代以下の就業している割合が6割以上を超え、40代～70代では年代が高くなるにつれて未就業の割合が増えている。

表1. 回答状況（n=334）

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代
調査対象者数	334	12	58	98	88	76	2
回答率(%)	100	3.6	17.4	29.3	26.3	22.8	0.6
就業者数	194	11	37	58	49	39	0
回答率(%)	58.1	91.7	63.8	59.2	55.7	51.3	0
未就業者数	140	1	21	40	39	37	2
回答率(%)	41.9	8.3	36.2	40.8	44.3	48.7	100

2) 未就業者（140人）の属性

(1) 年代（図1）

未就業者の年代は、「40代」（28.6%）が最も多く、次いで「50代」（27.9%）、「60代」（26.4%）であった。

(2) 最も経験のある看護職資格（図2）

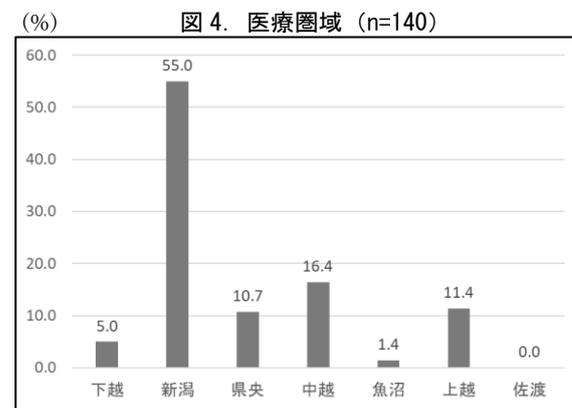
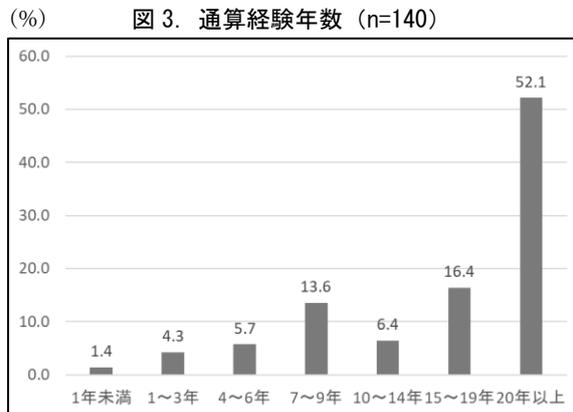
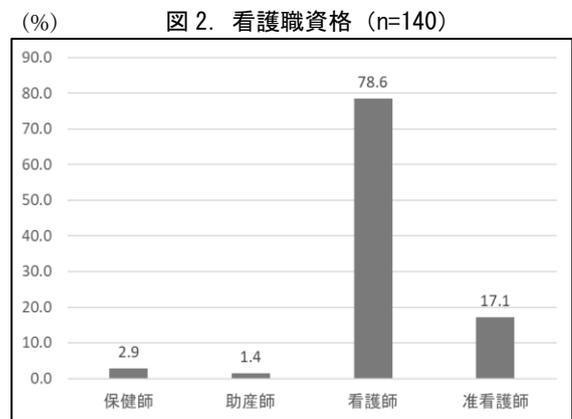
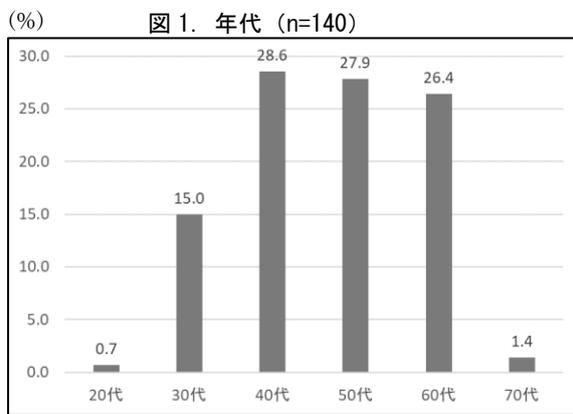
最も経験のある看護職資格は「看護師」（78.6%）が最も多く、次いで「准看護師」（17.1%）、「保健師」（2.9%）であった。

(3) 看護職としての通算経験年数（図3）

通算経験年数は「20年以上」（52.1%）が最も多く、次いで「15年以上19年以下」（16.4%）、「7年以上9年以下」（13.6%）であった

(4) 医療圏域別（図4）

医療圏域別にみると「新潟」（55.0%）が最も多く、次いで「中越」（16.4%）、「上越」（11.4%）であった。



3) 未就業者 (140 人) の状況

(1) 離職期間 (表 2)

離職期間は「1年未満」(42.9%)が最も多く、次いで「1年以上3年未満」(27.1%)、「3年以上5年未満」(14.3%)であった。

30代から70代において、半数以上が離職期間1年以上であった。

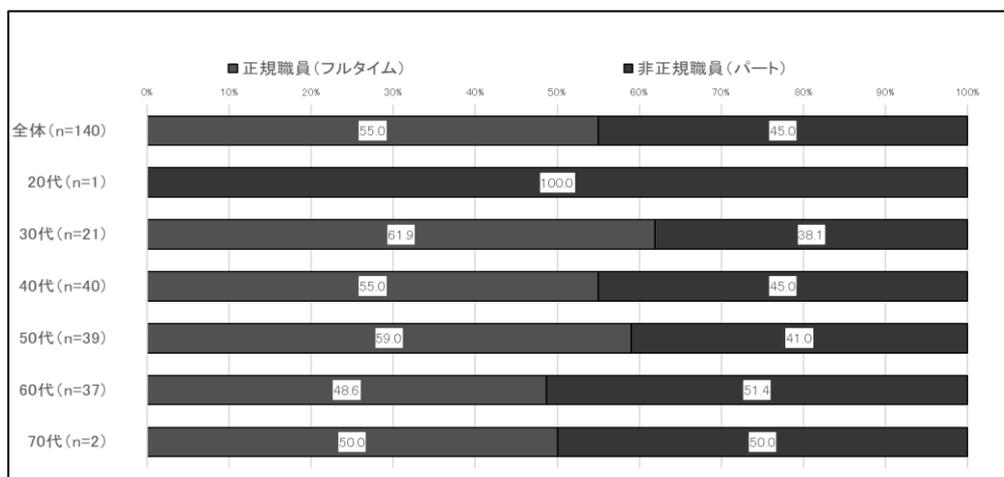
表 2. 離職期間 (n=140)

割合 (%)	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
全体 (n=140)	42.9	27.1	14.3	7.1	8.6
20代 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代 (n=21)	42.9	33.3	9.5	4.8	9.5
40代 (n=40)	40.0	30.0	12.5	7.5	10.0
50代 (n=39)	43.6	17.9	15.4	7.7	15.4
60代 (n=37)	45.9	29.7	18.9	5.4	0.0
70代 (n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

(2) 退職時の雇用形態 (図 5)

退職時の雇用形態は「正規職員 (フルタイム)」(55.0%)、「非正規職員 (パート)」(45.0%)であった。年代別にみると、60代のみ「非正規職員 (パート)」の割合の方が「正規職員 (フルタイム)」よりやや多かった。

図 5. 退職時の雇用形態 (n=140)



(3) 退職時の施設 (表3)

退職した際に勤めていた施設は「病院 (400床以上)」「診療所」(15.7%)が最も多く、次いで「コロナ関連業務」(12.9%)、「病院 (199床以下)」(12.1%)であった。

表3. 退職時の施設 (n=140)

回答数	n	病院 (199床以下)	病院 (200~399床)	病院 (400床以上)	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設 (特養)	通所介護 (デイサービス)	その他介護・福祉施設	訪問看護ステーション	行政 (県・市区町村・保健所等)	健診センター	企業・事業所	看護系教育機関	保育施設	学校 (看護職)	コロナ関連業務	その他
全体 (下段:%)	140	17	16	22	22	4	6	9	6	3	3	1	3	2	1	3	18	4
	100.0	12.1	11.4	15.7	15.7	2.9	4.3	6.4	4.3	2.1	2.1	0.7	2.1	1.4	0.7	2.1	12.9	2.9
年齢別	20代	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30代	21	2	4	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4	2
	40代	40	7	4	7	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	2	7	1
	50代	39	4	5	10	1	3	2	2	0	1	1	2	1	0	0	2	0
	60代	37	3	3	5	3	3	3	1	3	3	1	0	1	1	1	5	1
	70代	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 退職理由 (表4)

退職をした理由は「人間関係 (職場、患者・家族等)」(22.9%)が最も多く、次いで「契約期間満了のため」(17.9%)、「妊娠・出産・育児」(15.0%)であった。

退職理由を年代別にみると、30代は「妊娠・出産・育児」と回答した割合が他の年代に比べて多く、60代は「契約期間満了」と回答した割合が多かった

表4. 退職理由 (上位3つまでの複数回答、n=140)

回答数	n	人間関係 (職場、患者・家族等)	契約期間満了のため	妊娠・出産・育児	家族の介護・看護	健康上の理由 (精神面)	転居 (配偶者の転勤等)	職場環境になじめない	定年退職	健康上の理由 (身体面)	時間外勤務が多い	看護内容への不満	自身の適性や能力の不安	休暇が取れない	結婚	夜勤・夜間対応の負担が大きい	役割に対する責任の重さ	他の職場・他分野への興味	進学・資格取得のため	給与の不満	コロナ対応疲れ	教育・研修体制の不満	その他
全体 (下段:%)	140	32	25	21	19	18	17	16	14	13	11	9	8	8	7	7	5	3	3	3	3	1	13
	100.0	22.9	17.9	15.0	13.6	12.9	12.1	11.4	10.0	9.3	7.9	6.4	5.7	5.7	5.0	5.0	3.6	2.1	2.1	2.1	2.1	0.7	9.3
年齢別	20代	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30代	21	2	3	10	1	2	6	0	0	2	0	1	1	2	1	0	0	1	1	0	0	2
	40代	40	10	7	8	5	8	6	4	0	4	2	2	3	1	2	1	1	2	1	0	0	4
	50代	39	12	4	3	2	5	4	5	1	5	7	3	2	3	4	4	0	0	1	3	1	4
	60代	37	8	11	0	10	3	0	7	13	4	0	4	3	1	0	0	2	0	0	0	0	2
	70代	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(5) 退職理由の内容について

①人間関係 (職場、患者・家族等) で困難だった相手 (図6)

退職理由で「人間関係 (職場、患者・家族等)」と回答した32人が、関係が困難だった相手は、「上司 (看護職)」(40.6%)が最も多く、次いで「上司 (看護職以外)」(25.0%)、「同期・後輩」(21.9%)であった。

②その相手からのハラスメントの有無 (図7)

相手からのハラスメントの有無は「あった」(87.5%)、「なかった」(12.5%)であった。

図6. 人間関係が困難だった相手 (複数回答、n=32)

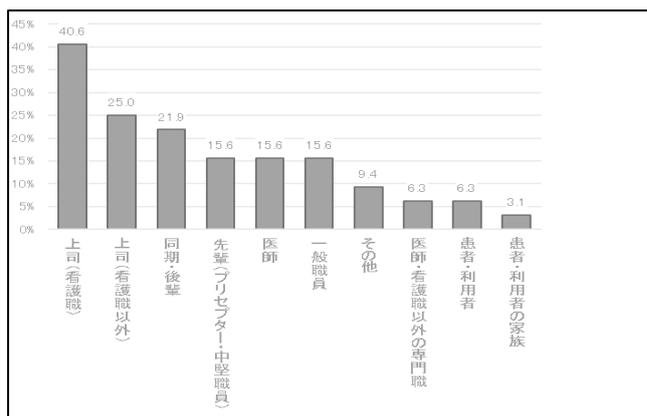
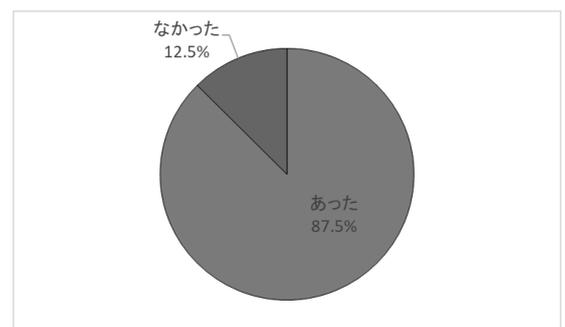


図7. ハラスメントの有無 (n=32)

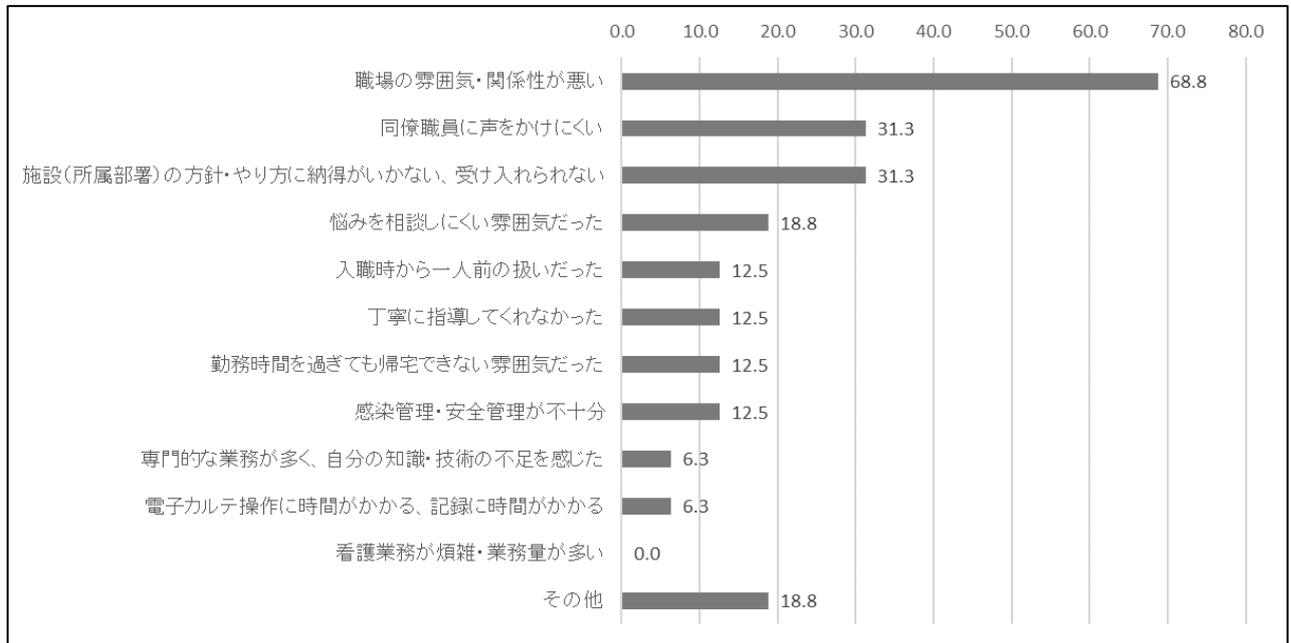


③ 職場環境になじめない理由（図 8）

退職理由で職場環境になじめなかったと回答した 16 人の理由は、「職場の雰囲気や人間関係が悪い」（68.8%）が最も多く、次いで「同僚職員に声をかけにくい」「施設（所属部署）の方針・やり方に納得がいかない、受け入れられない」（31.3%）であった。

図 8. 職場環境になじめない理由（上位 3 つまでの複数回答、n=16）

(%)

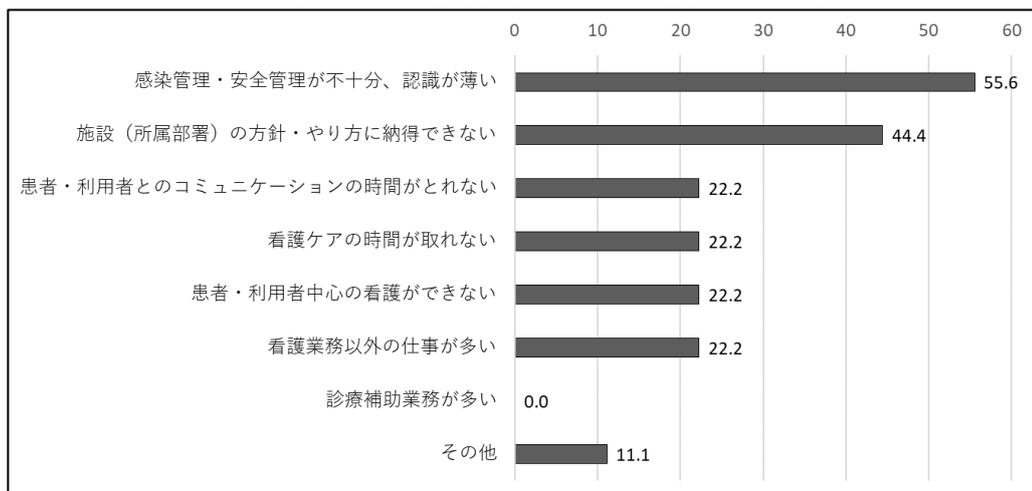


④ 看護内容への不満理由（図 9）

退職理由で看護内容の不満と回答した 9 人の不満内容は「感染管理・安全管理が不十分、認識が薄い」（55.6%）が最も多く、次いで「施設（所属部署）の方針・やり方に納得できない」（44.4%）、他はばらつきがみられた。

図 9. 看護内容への不満（上位 3 つまでの複数回答、n=9）

(%)



⑤ 時間外勤務の内容と時間外手当の支給状況

・ 時間外業務内容（図 10）

退職理由で時間外勤務と回答した 11 人の時間外業務内容は「記録・PC 入力」（63.6%）が最も多く、他はばらつきがみられた。

・ 時間外手当の支給状況（図 11）

時間外手当の支給は「全額支給」(18.2%)、「ほぼ支給」(36.4%)、「ほとんど支給なし」と「支給なし」を合わせると45.5%であった。

・時間外の頻度と1日の時間外勤務 (図12、図13)

時間外の頻度は「ほぼ毎日」が8割以上を占めた。

また、1日の時間外勤務は「2時間以内」が5割以上であった。

図10. 時間外業務内容(上位3つまでの複数回答、n=11)

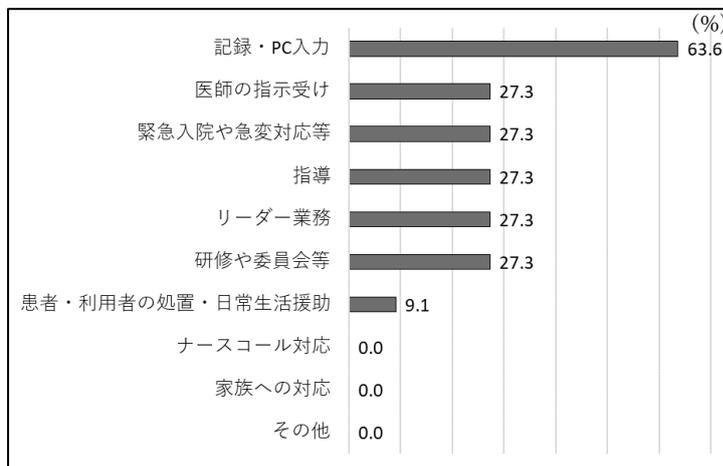


図11. 時間外手当の支給 (n=11)

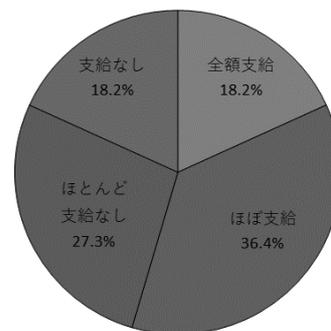


図12. 時間外の頻度 (n=11)

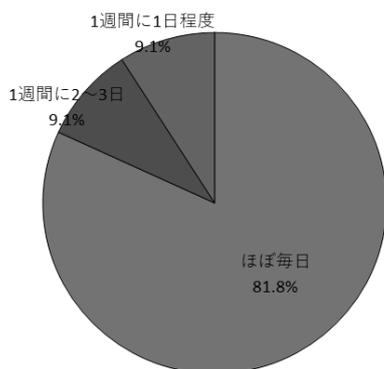
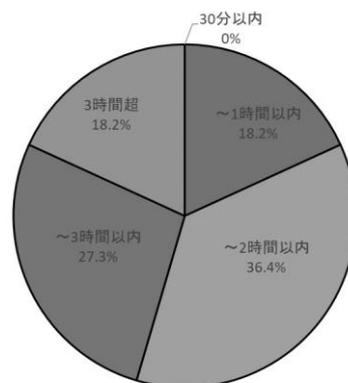


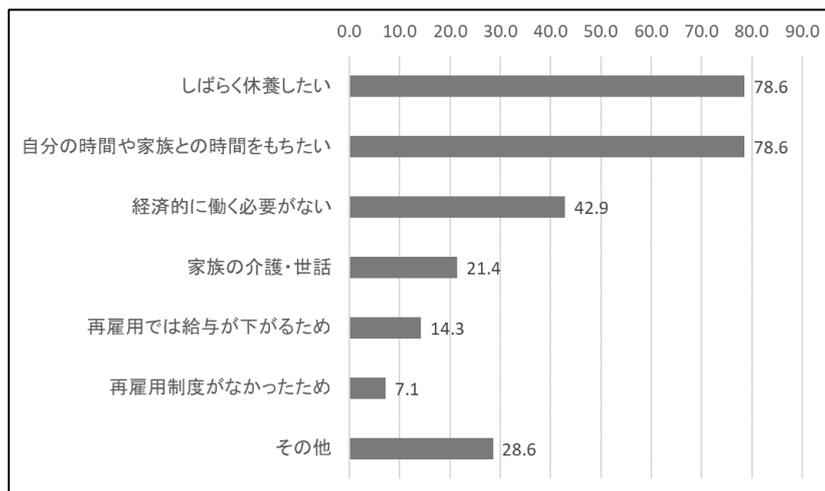
図13. 1日の時間外勤務 (n=11)



(6) 定年退職後に再就業しない理由 (図14)

定年退職した14人が再就業しない理由は「しばらく休養したい」「自分の時間や家族との時間をもちたい」(78.6%)が最も多く、次いで「経済的に働く必要がない」(42.9%)、「家族の介護・看護」(21.4%)であった。

図14. 定年退職後に再就業しない理由 (n=14)

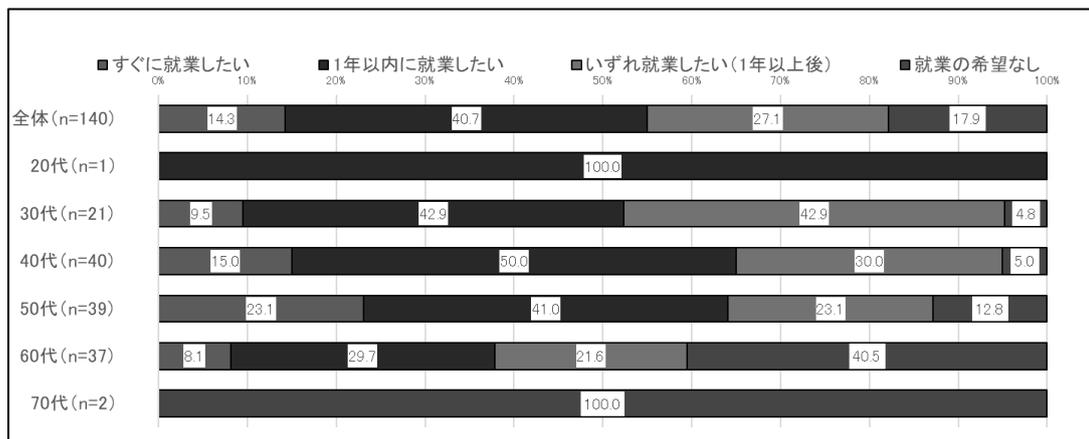


(7) 未就業者（140人）が希望する就業条件等

①就業の意思とその希望時期（図15）

未就業者140人の就業意思については「1年以内に就業したい」（40.7%）が最も多く、次いで「いずれ就業したい（1年以上後）」（27.1%）、「就業の希望なし」（17.9%）であった。全体の8割以上に就業希望があったが「すぐに就業したい」は14.3%と最も割合が少なかった。年代別にみると、50代は「すぐに就業したい」と回答した割合が他の年代より多かった。

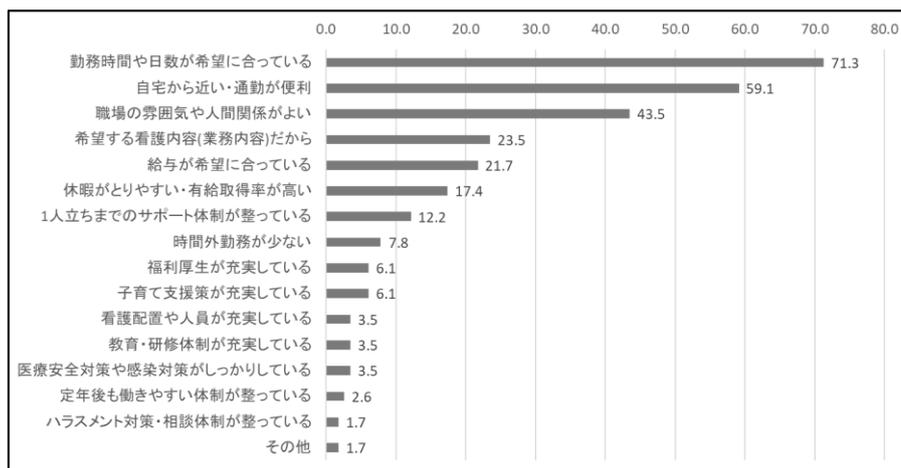
図15. 就業の意思とその希望時期（n=140）



②就業希望のある者（115人）が就業で重視する条件（図16）

就業希望ありと回答した者が重視する条件は「勤務時間や日数が希望に合っている」（71.3%）が最も多く、次いで「自宅から近い・通勤が便利」（59.1%）、「職場の雰囲気や人間関係がよい」（43.5%）であった。

図16. 就業で重視する条件（上位3つまでの複数回答、n=115）



③希望する職種（図17）

就業で希望する職種は「看護師」（80.9%）が最も多く、次いで「准看護師」（13.9%）、「保健師」（5.2%）であった。

④希望する雇用形態と勤務形態（図18、図19）

希望する雇用形態は「非正規職員（パート）」（57.4%）、「正規職員（フルタイム）」（28.7%）、「臨時（短期・単発等）」（13.9%）であった。

希望する勤務形態は「日勤のみ（短時間）」（62.6%）が最も多く、次いで「日勤のみ（フルタイム）」（27.8%）、「2交代」（4.3%）であった。

⑤ 希望する週休（図 20）

希望する週休は「その他（パート等で少ない就業日数を希望の方）」（54.8%）が最も多く、次いで「4週8休（完全週休2日制）」（30.4%）、「こだわらない」（13.0%）であった。

年代別にみると、30代は「4週8休（完全週休2日制）」と回答した割合が他の年代に比べると多かった。

図 17. 希望する職種 (n=115)

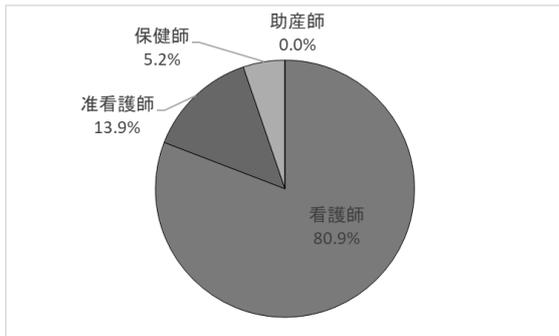


図 18. 希望する雇用形態 (n=115)

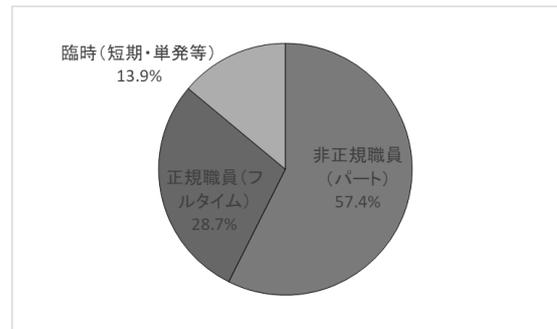


図 19. 希望する勤務形態 (n=115)

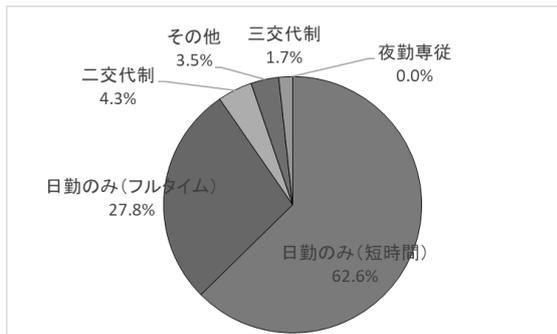
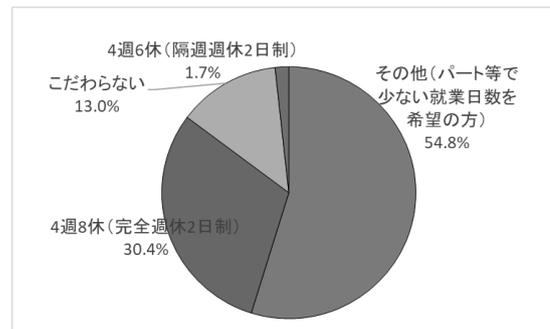


図 20. 希望する週休 (n=115)



⑥ 希望する給与

・希望する給与体系（図 21）

就業希望のある 115 人が希望する給与体系は「時間給」（60.0%）が最も多く、次いで「月給」（36.5%）、「日給」（3.5%）であった。

年代別にみると、30代は「月給」と回答した割合が他の年代より多く、半数以上であった。

・希望する時給（図 22）

時給を希望する 69 人の希望額は「1500～2000 円未満」（60.9%）が最も多く、次いで「1200～1500 円未満」（21.7%）、「1200 円未満」（8.7%）であった。

・希望する給与月額（図 23）

月給を希望する 42 人の希望額は「25～30 万円未満」（38.1%）が最も多く、次いで「20～25 万円未満」（21.4%）、「30～35 万円未満」（14.3%）であった。

年代別にみると 60 代すべてが「20 万円未満」の回答であった。

・希望する日給（図 24）

日給を希望する者 4 人の希望額は「5000 円未満」（50.0%）、「5000 円以上 1 万円未満」（25.0%）、「1 万円以上」（25.0%）であった。

図 21. 希望する給与と体系 (n=115)

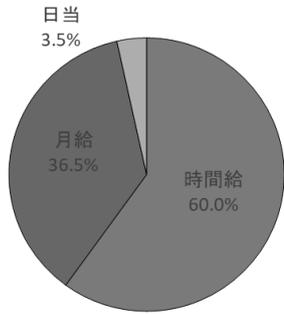


図 22. 希望する時間給 (n=69)

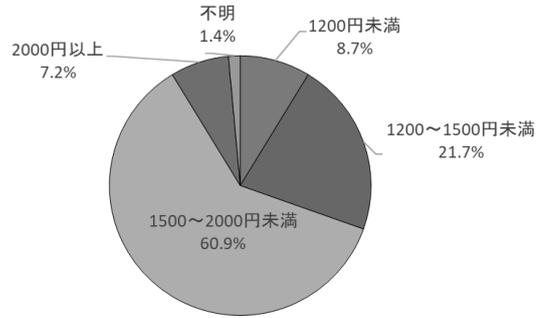


図 23. 希望する月給 (n=42)

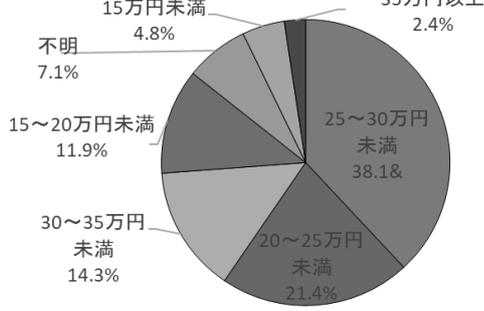
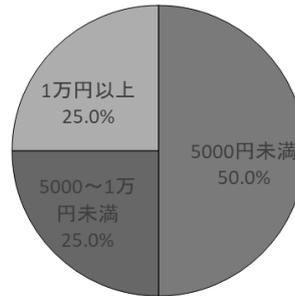


図 24. 希望する日給 (n=4)



⑦ 就業を希望する施設 (表 5)

就業を希望する施設は「健診センター」(47.0%) が最も多く、次いで「通所介護 (デイサービス)」(37.4%)、「診療所」「行政 (県・市区町村・保健所等)」(34.8%) であった。

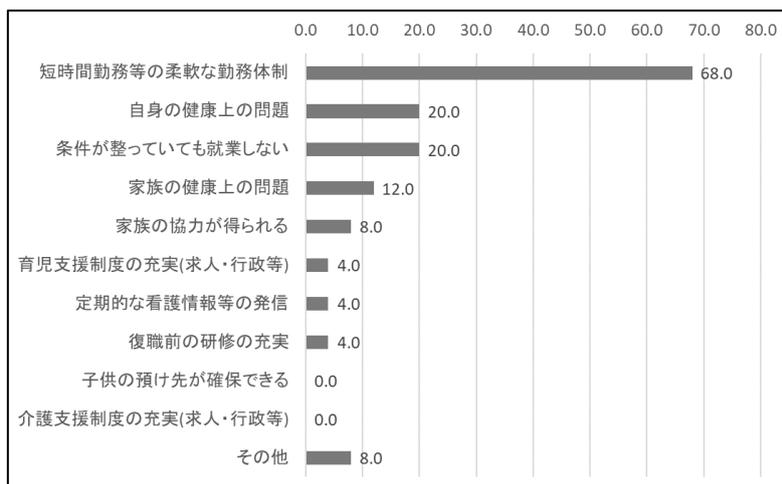
表 5. 就業を希望する施設(複数回答、n=115)

回答数	n	急性期 病院	慢性期 病院	療養型 病院	精神科 病院	診療所	介護老 人保健 施設	介護老 人福祉 施設 (特養)	通所介 護(デ イサー ビス)	その他 介護・ 福祉施 設	訪問看 護ステ ーション	行政 (県・市 区町 村・保 健所等)	健診セ ンター	企業・ 事業所 (産業)	看護系 教育機 関	保育施 設	小・中・ 高・特 別支援 学校	その他
全体	115	20	29	20	9	40	19	21	43	20	17	40	54	27	14	14	11	8
(下段: %)	100.0	17.4	25.2	17.4	7.8	34.8	16.5	18.3	37.4	17.4	14.8	34.8	47.0	23.5	12.2	12.2	9.6	7.0
年齢別	20代	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	30代	20	10	9	7	2	8	5	6	7	3	4	6	14	7	4	3	0
	40代	38	8	13	7	4	18	6	5	8	4	7	17	20	10	6	4	7
	50代	34	2	5	4	1	10	5	7	15	6	3	10	13	7	2	5	3
	60代	22	0	1	1	2	4	2	3	13	7	3	7	6	3	2	2	1
70代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(8) 就業しないと回答した 25 人が就業を検討する条件 (図 25)

就業の希望なしと回答した者が、就業を検討する条件は「短時間勤務等の柔軟な勤務体制」(68.0%) が最も多く、次いで「条件が整っていても就業しない」「自身の健康上の問題」(20.0%) であった。

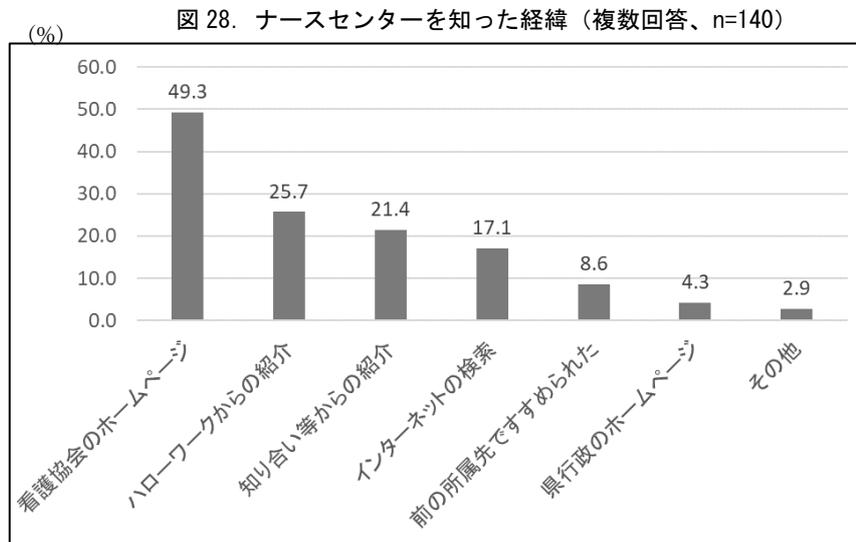
図 25. 就業を検討する条件 (上位 3 つまでの複数回答、n=25)



4) 未就業者（140人）の職業紹介所利用について

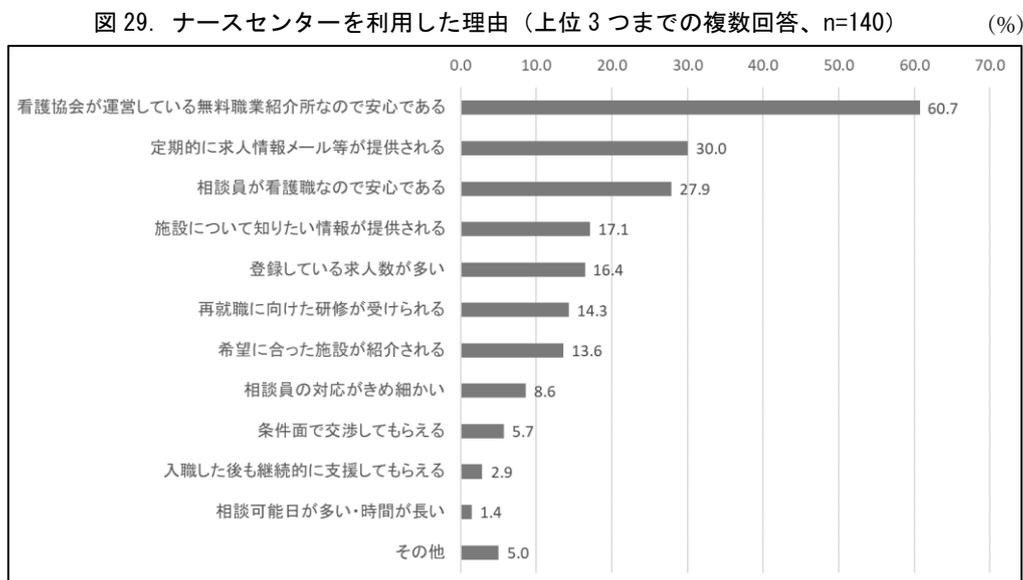
(1) ナースセンターを知った経緯（図28）

ナースセンターを知った経緯は「看護協会のホームページ」（49.3%）が最も多く、次いで「ハローワークからの紹介」（25.7%）、「知り合いからの紹介」（21.4%）であった。



(2) ナースセンターを利用した理由（図29）

ナースセンターを利用した理由は「看護協会が運営している無料職業紹介所なので安心である」（60.7%）が最も多く、次いで「定期的に求人情報メール等が提供される」（30.0%）、「相談員が看護職なので安心である」（27.9%）であった。



(3) ナースセンターの相談や問い合わせで利用したい手段（表7）

ナースセンターの相談や問い合わせで利用したい手段は「メール」（60.7%）が最も多く、次いで「Line」（43.6%）、「電話」（37.9%）であった。

年代別にみると、30代以下では「Line」と回答した割合が多く、60代では「電話」「対面」が「メール」に次いで多かった。

